

北海道教育委員会（所在地：北海道）

事業名

障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業

事業の趣旨・目的

- ・学校卒業後の障がい者の社会参加・活躍を一層推進するため、地域コンソーシアム形成による持続可能な生涯学習推進体制を構築し、多様な学びの場の拡充を目指す。
- ・市町村が障がい者の生涯学習に関する施策を計画的に推進できるよう、共生社会コンファレンス等の取組を通して、成果の普及を図る。

事業実施体制・連携先

- ・医療法人、社会福祉法人、大学等の高等教育機関、特別支援学校、社会教育関係団体、障がい当事者団体、道立生涯学習推進センター、社会教育施設（ネイパルなど）、市町村（教育委員会含む）、スポーツ関係団体、企業など

事業内容

- ・関係機関の参画による地域コンソーシアムの形成
（地域コンソーシアム会議、各地の障がい者の生涯学習に関する取組及び他地域の共生社会コンファレンス等の構成員視察、障がい者の受入体制向上のための啓発資料の作成）
- ・障がい者の生涯学習プログラムを実施する多様な実施主体（市区町村、大学、民間団体等）に対する支援
（多様な主体の連携による学習プログラム構築事業、スタートアップ支援学習会、障がい者の生涯学習推進キックオフミーティング）
- ・障がい者の学びを支援する人材の育成に資する研修（合理的配慮を含む）の実施
（障がい者の学びの支援入門講座、障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊、社会教育主事講習における講座科目の設定）
- ・地域における関係団体、支援者、障がい者本人等が参加する共生社会コンファレンスの実施
（共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 北海道）
- ・障がい者の学びに関するニーズや実態、地域の学びの環境に関する調査研究の実施
（障がい者の学びに関するニーズや実態等に関する調査研究、ワーキングチーム会議、障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業成果報告会）
- ・特別支援学校等における児童生徒の生涯学習の意欲向上に資する取組の実施
（特別支援学校や大学等との連携による児童生徒への体験的な学びの機会拡充の取組、特別支援学校等における児童生徒の生涯学習の意欲向上に向けた学校及び地域への働きかけ）
- ・障がい者の学びに関する情報を一元的に収集・提供する仕組みの構築
（障がい者の学びに関する情報を一元的に収集・提供する仕組みの構築、ワーキングチーム会議）
- ・読書や図書館等の利用や意思疎通に困難を伴う障がい者の支援に関する取組の実施
（障がい者の読書環境の整備に向けた研修等の実施、アクセシブルな書籍の充実や活用に向けた啓発）

事業終了後の目指す方向性

- ・全道各地の実情に即した学びの場をさらに拡充させ、学校卒業後の障がい者の社会参加・活躍をより一層推進していく。
- ・市町村の教育振興基本計画や生涯学習・社会教育推進計画等の策定を通して、障がい者の生涯学習に関する施策の持続可能な推進体制の定着に向けて支援する。

その他

北海道教育委員会ウェブサイト
「障がいのある方の学びの体制を構築するために」
<https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/183666.html>

